

KADOMA PHOTO NEWS

FM-HANAKO「コロナに負けない」 特別番組 ラジオでつながる一人ひとりの物語



はなす*スタジオでインタビューにこたえる中尾さん(右)

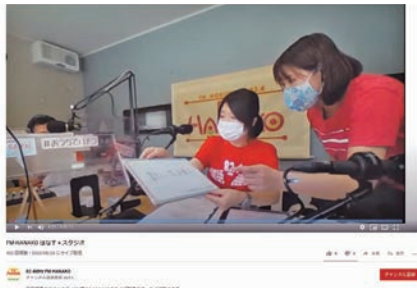
守口・門真のコミュニティラジオ局 FMハナコが、周波数の82.4MHzにちなみ、前日の8月23日に、開局27周年特別番組「HANAKO de SAIKAI〜コロナに負けない 前に進むために〜」を5時間生放送されました。

番組では、医療従事者や教員、飲食店経営者など、厳しい状況でも前向きに頑張っている15人にスポットをあて、皆さんがコロナ禍でどんなことを考え、どんなことに取り組んでいるのかをインタビューなどで紹介しました。

焼鳥屋を営む中尾俊之さんは「創業22年のなかで一番苦しく、店の明かりを消さないことだけを必死でやってきました。お昼のお弁当のテイクアウトなど店頭で販売していたので、ご近所の方とコミュニケーションがとれて、人の温かみを再確認できました。『助けたい』っていう気持ちがいひひしと伝わってくるお客さまもおられ、地域というのが一番大事なんだとわかりました」と話されました。

当日の放送は、FMハナコのYouTubeチャンネルから動画で見ることができます。このチャンネルでは、スタジオの様子の生配信もしており、パーソナリティやゲストの表情など生放送の裏側が見れます。FMハナコを聞いたことがない人も、ぜひこの機会にご覧ください。

FMハナコのYouTube
チャンネルはこちら



YouTubeの生配信ではCM中の打ち合わせが映り込むことも



大阪モノレール 医療従事者への 感謝伝えるラッピング車両を走らせたい

大阪モノレールは、医療従事者への感謝の気持ちを伝えるラッピング車両「ブルーエール号」を走らせるため、インターネット上で支援を募るクラウドファンディングに取り組んでいます。この取り組みは、お客さまから提案のあったラッピング車両を「ぜひ実現したい」と若手社員が声をあげてスタートしたもの。

デザインを担当した野口さん(写真右)は「車両をデザインするのは初めてで、どんなデザインにすればいいのかすごく悩みました。ラッピング車両を見て少しでも励まされる方がいてくださると嬉しいです」と話されました。

支援した人には金額に応じて、「かどま」が名前の由来である鉄道むすめ「豊川まどか」のパスケースや、モノレールのペーパークラフトなどが送られます。プロジェクトのリーダーを務めた岸本さん(写真左)は「医療従事者の方々へ感謝の気持ちを伝えるために、皆さまのお力でこの車両を運行さ



せていただければ」と支援を呼びかけられました。

クラウドファンディングは10月31日までで目標額は700万円。車両には、医療従事者への感謝に賛同した宮本市長が書いた「ありがとう」のメッセージも掲載されます。ラッピング車両の出発式は11月3日(予定)。「ブルーエール号」は、多くの人の想いをのせて、1年間走り続ける予定です。

クラウドファンディング
サイトはこちら



花と緑が繋ぐ地域の絆



山崎会長(前列中央)と会員の皆さん

8月3日、「北巣本町花と緑の会」が、近畿地方整備局から道路愛護等功労団体として大阪国道事務所長表彰を受けました。

北巣本町花と緑の会は、「花と緑で繋ぐ地域の絆」をスローガンに、国道1号(第二京阪道路側道部)の花壇の手入れや除草、ごみ拾いなど道路の美化清掃活動を、ボランティアで行っています。平成29年10月から4人で本格的に活動を開始し、現在は23人の会員が参加。活動日は毎週木・土曜日

ですが、中には、ほぼ毎日活動している人もいます。

活動を始めた頃は犬の糞が多かったそうですが、花を植え、道路をきれいにし続けたことで、今では、ほとんどなくなったそうです。

時期によっては、綺麗な花が咲く様子を眺めることができ、通行人の中には「いつもありがとうございます」と感謝してくれる人や「写真撮らせてください」と作業の様子を写真に収める人もいます。近所の会社のご協力もあるそうです。会員のお一人は「皆さんにとって花を見ることで、やすらぎの場となればいいと思います。近所



の子どもたちが作業を手伝ってくれて、良い経験になってくれれば嬉しいです」と話されました。

今回の表彰を受け、会長の山崎盛雄さんは「まさか表彰されると思ってなかった。会員はみんな喜んでいて、ますます頑張ろうという意欲が湧いています。これからも力を合わせて活動していきます」と意気込んでおられました。